



2025 年 12 月 4 日

各 位

会 社 名 アライドアーキテツツ株式会社
代表者名 代表取締役会長 田中 裕志
(コード番号：6081 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 財務経理部長 水野 智博
(TEL 03-6408-2791)

(訂正) 2025 年 12 月期第 3 四半期 決算説明資料の一部訂正について

2025 年 11 月 14 日に開示いたしました「2025 年 12 月期第 3 四半期 決算説明資料」の記載について一部訂正がございましたので、お詫び申し上げますとともに下記の通りお知らせいたします。なお、同日に開示いたしました決算短信等の数値に訂正はありません。

1. 訂正の理由

「2025 年 12 月期第 3 四半期 決算説明資料」の開示後、4 ページ「2025 年 12 月期第 3 四半期（7-9 月）業績ハイライト・トピックス」、6 ページ「2025 年 12 月期 3 Q（7-9 月）業績」、8 ページ「営業損益」の記載内容に誤りがあることが判明いたしましたので訂正いたします。

2. 訂正事項

次頁以降をご参照ください。訂正箇所は赤線で囲んでおります。
また、当社ウェブサイト(<https://www.aainc.co.jp/ir/irmaterial/>)に掲載している当該資料については、上記訂正を反映したものを掲載いたします。

以 上

< 4 ページ「2025 年 12 月期第 3 四半期（7-9 月）業績ハイライト・トピックス」>
(訂正前)

2025 年 12 月期第 3 四半期（7-9 月）業績ハイライト・トピックス



売上高は新戦略「三層支援モデル」の本格展開により復調、戦略投資を継続し反転攻勢へ向けた土台を整備中。営業損益は提供価値と案件単価の向上を通じた収益基盤強化を図る



Topics

- 1 データプラットフォーム「Kaname.ax」の基幹技術の特許を出願
データを活用した支援商材の追加により、分析からのクリエイティブ制作支援を強化
- 2 TikTokマーケティングパートナーのエージェンシーバッジ取得、エンタメ・IP領域に特化した「IP×SNS戦略チーム」新設等、新しい市場、領域での案件創出を開始
- 3 新戦略「三層支援モデル」における上流支援増加で提供価値が向上し、高単価案件が増加

© 2025 Allied Architects, Inc.

4

(訂正後)

2025 年 12 月期第 3 四半期（7-9 月）業績ハイライト・トピックス



売上高は新戦略「三層支援モデル」の本格展開により復調、戦略投資を継続し反転攻勢へ向けた土台を整備中。営業損益は提供価値と案件単価の向上を通じた収益基盤強化を図る



Topics

- 1 データプラットフォーム「Kaname.ax」の基幹技術の特許を出願
データを活用した支援商材の追加により、分析からのクリエイティブ制作支援を強化
- 2 TikTokマーケティングパートナーのエージェンシーバッジ取得、エンタメ・IP領域に特化した「IP×SNS戦略チーム」新設等、新しい市場、領域での案件創出を開始
- 3 新戦略「三層支援モデル」における上流支援増加で提供価値が向上し、高単価案件が増加

© 2025 Allied Architects, Inc.

4

< 6 ページ「2025 年 12 月期 3 Q（7-9 月）業績」>

(訂正前)

2025年12月期3Q（7-9月）業績



売上高は新戦略「三層支援モデル」の検証が着実に進み、想定どおり順調に推移。
営業損失はガバナンス強化費用が主因、事業面ではコスト管理を強化し投資分以外の収支は改善

	2024年12月期3Q	2025年12月期3Q	前年同期比
(百万円)	為替レート：1ドル=148.61円		
売上高	844	715	△15.2%
営業損益	△74	△88	—
営業利益率	—	—	—
経常損益	△296	△106 ^{※1}	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△273	△115 ^{※2}	—

※1 為替差損として2百万円、投資事業組合運用損として3百万円を計上。
※2 関係会社整理損4百万円を特別損失として計上。

(訂正後)

2025年12月期3Q（7-9月）業績



売上高は新戦略「三層支援モデル」の検証が着実に進み、想定どおり順調に推移。
営業損失はガバナンス強化費用が主因、事業面ではコスト管理を強化し投資分以外の収支は改善

	2024年12月期3Q	2025年12月期3Q	前年同期比
(百万円)	為替レート：1ドル=148.61円		
売上高	844	715	△15.2%
営業損益	△74	△119	—
営業利益率	—	—	—
経常損益	△296	△106 ^{※1}	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△273	△115 ^{※2}	—

※1 為替差損として2百万円、投資事業組合運用損として3百万円を計上。
※2 関係会社整理損4百万円を特別損失として計上。

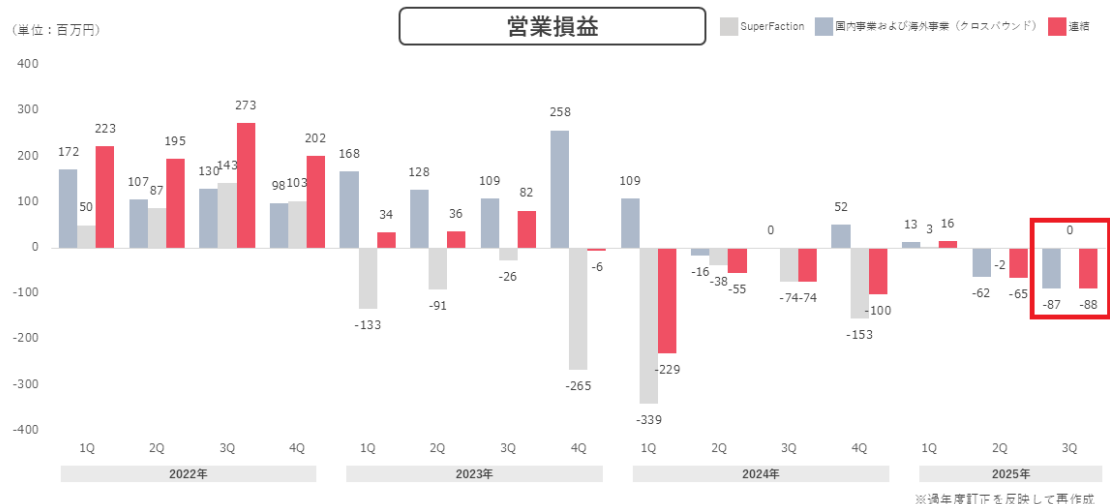
< 8 ページ「営業損益」>

(訂正前)

営業損益



本格的なガバナンス強化対策の着手にともなう費用計上により、連結営業損失はやや悪化。
事業面では新戦略である三層支援モデルへの適応に向けて先行投資を開始



© 2025 Allied Architects, Inc.

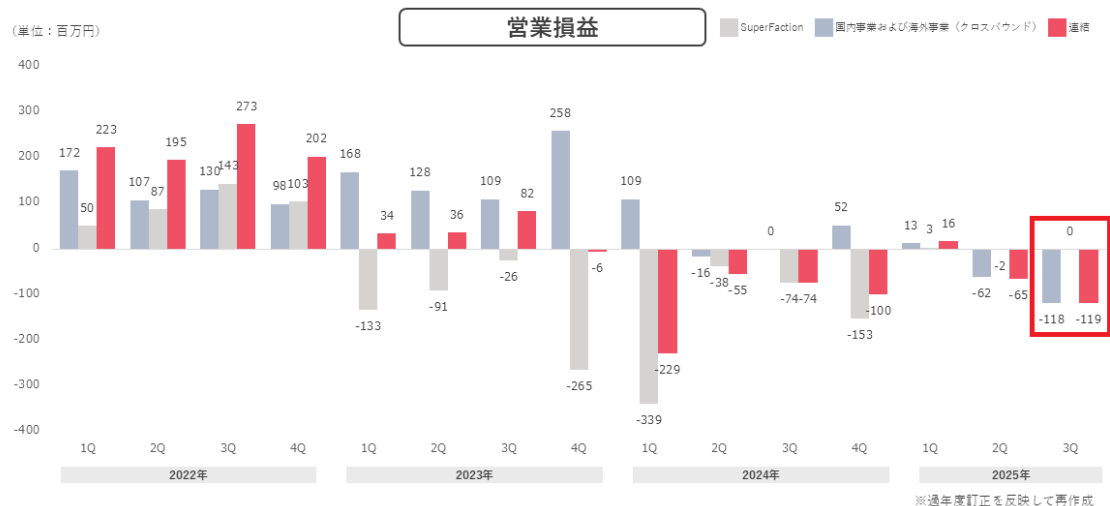
8

(訂正後)

営業損益



本格的なガバナンス強化対策の着手にともなう費用計上により、連結営業損失はやや悪化。
事業面では新戦略である三層支援モデルへの適応に向けて先行投資を開始



© 2025 Allied Architects, Inc.

8